

スタートアップ・エコシステム形成支援 採択プラットフォーム紹介

令和4年度開始～令和8年度終了予定



プラットフォーム名：（令和7年7月時点）

HSFC<エイチフォース>

北海道未来創造スタートアップ
育成相互支援ネットワーク

参画機関

主幹機関：北海道大学 共同機関：小樽商科大学、室蘭工業大学、北見工業大学、公立はこだて未来大学、札幌医科大学、北海道情報大学、北海道科学大学、北海学園大学、苫小牧工業高等専門学校、旭川工業高等専門学校、函館工業高等専門学校、北海道科学技術総合振興センター、旭川医科大学、帯広畜産大学、北海道医療大学、北海道教育大学、旭川市立大学、北星学園大学
幹事自治体：札幌市、江別市、帯広市、函館市、釧路市、北海道

目指すスタートアップ・エコシステム

労働人口の減少が加速するなど、さまざまな課題を抱える「課題先進地域」である北海道を、スタートアップの創出と、それを支えるエコシステムの形成によって「課題解決先進地域」へと変革する。大学や高等専門学校から輩出される優秀な人材の流出を防ぎ、地域内に新たな産業構造の構築を目指す。令和8年度末までのスタートアップ創出目標数は135社である。



(1)起業活動支援プログラムの運営

- 創出するベンチャー像を3つに明確化し、支援・育成を加速する。
 - ①世界市場を目指すDEEP TECH型ベンチャー
 - ②国内市場を中心とした研究成果実装・地域課題解決型ベンチャー
 - ③ソーシャルビジネス・学生ベンチャー
- GAPファンドについて令和5年度から令和8年度までは、令和4年度の実績や本プログラム以外での資金調達状況を踏まえ、適当数の単価及び採択予定数を設定する。
- 事業化支援のための新プログラムを導入し、事業化の加速を目指す。
 - ▶公募前研修プログラムの実施
 - ▶採択後の標準化プログラム・個別メンタリング・VCマッチング等

(3)起業環境の整備

- 広域に点在する大学や研究機関、自治体を繋ぐハブとして、HX(エイチクロス)を設置し、拠点整備を進める。
 - ▶音更町サテライト(小樽商科大・帯広市)
 - ▶KOSENコモンズ函館(函館高専・函館市)
 - ▶交流サロンテクノスペース(情報大・江別市)
 - ▶C-Base(苫小牧高専・苫小牧市)等
- 拠点都市内のインキュベーション施設との連携を強化する。
 - ▶Deep Tech CORE SAPPORO(札幌市)等



活動成果

- 参画機関数(主幹機関・共同機関)は、15大学を含む19機関に拡充した。
- アントレプレナーシップ人材育成プログラム数: 150件 (本事業資金・資金外及びEDGE-PRIME Initiative含む)
- プログラム受講者数: 15,915人 (本事業資金・資金外及びEDGE-PRIME Initiative含む)

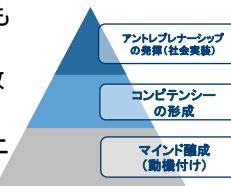


HSFC × NoMaps



(2)アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営等

- 参画機関(大学・高専)の学生を始め、小中高生等も対象としたアントレ人材育成プログラムを広く浸透させ、裾野を広げるとともに、多様な受講者同士による教育の相乗効果を最大化する。
- 到達レベルごとにプログラムを拡充し、連続性のある段階的教育の全体設計のもと、取組を進める。
- アントレプレナーシップ人材育成プログラムを、6,500人/年以上が受講することができる体制を整備する。



(4)拠点都市のエコシステムの形成・発展

- 拠点都市が進めるビジネスカンファレンス等とHSFCの取組を接続し、ネットワークの強化とスタートアップ創出の契機を拡大させる。
 - ▶日本版SXSWを目指す「NoMaps」(札幌市)との連携
 - ・経営者・VC等とのミートアップの実施
 - ・都市を舞台とした実証実験・展示
 - ・ピッチコンテストの開催とその後のメンタリング等